

■ 2学期を上手に過ごそう

2学期は、1年間の中で最も長い期間であり、「勉強の秋」「読書の秋」「運動の秋」「食欲の秋」と、何をするにも充実した取り組みができる時期でもあります。充実した2学期を送るにあたり、学年毎に意識したいポイントをまとめてみました。

1学年 高校生としての生活を確立しよう

進路講演会を開催しました。高校での学習、全国規模の模試、と中学時代とは速さも規模も異なる



環境に戸惑いもまだあると思いますが、講師の先生から今後の学習の取り組みについて具体的にアドバイスをいただきました(まさかウサギの卵の話しか頭に残っていない人はいませんよね)。今後の生活で心がけたいのは

①受験を意識した早めのスタートが大切

- ・3教科の学力をバランス良くつけること
- ・志望理由を自分の言葉にして言えるようにすること

②とにかく授業を大切にすること

- ・「授業→復習→予習」の黄金サイクルをつくる
- ・繰り返しの復習が定着を高める

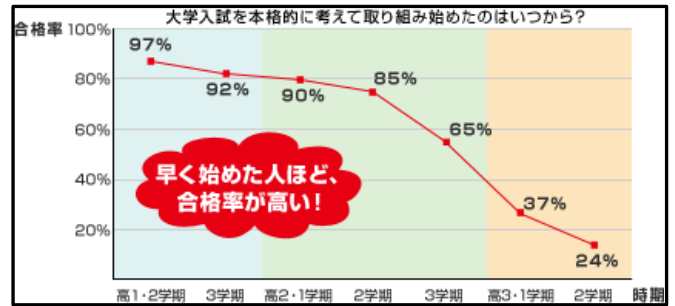
③校外模試の成績表の正しい見方を知る

- ・全国の出来と比べて得点できていない分野はどこか
- ・振り返りノートをきちんとつくる

7月から11月は成績が大きく変動する時期(高校に入ってからのが11月で問われる)。今頑張って1年間のいい流れをつくりましょう。

2学年 学習を「質」「量」両面から見直そう

2年生はこの2学期が学習の折り返し点。修学旅行もあり、高校生活の充実感を味わえる時期でもあります。11月の模試からは5教科型になり、大きな切り替えが求められます。よく「修学旅行後が受験生に切り替えるタイミング」と言われますが、これは「そこまではのんびりしていいよ」という意味ではありません。突然受験生にはなれないんです。日頃から少しずつ意識を高めていくことで本格的な学習の備えができます。今から自分



の学習の「質」と「量」について改善ができないか考えてみましょう。

★読書の秋、だからではないですが・・・赤本を見よう

赤い表紙の参考書、通称「赤本」。大学の入試問題を収録したもので受験生必須の参考書といえます。憧れの志望校については今年のうちに1冊買ってみるのもお勧めです(当然+1年分過去問を手に入れることができます)。入試問題だけでなく大学の様子や合格体験談、就職情報など様々な情報が掲載されています。自分の部屋の目につくところに置けばモチベーション↑。進路指導室および廊下に閲覧用に置いてありますので手に取って見てみましょう。



③学年 まず生活を受験生モードにしよう

①朝のSHRを大切にしよう

朝のSHRは、入試に関わる重要な連絡が多くなります。連絡を聞き漏らした結果、大切な申込みに間に合わなかったりしては大変。一切の聞き漏らしのないようにしよう。加えて、朝のSHRはクラス全員で「今日も1日みんなで頑張ろう」と誓いあい、励ましあう場でもあります。

②健康管理をしっかりしよう

入試本番で実力を発揮するためには体調管理も欠かせません。本番直前のみならず日頃から風邪をひかないための努力を惜しまぬよう。睡眠不足や朝食抜きなど論外。コロナだけでなくインフルエンザの対策も。

③正確な情報に振り回されない

「塾の友人が…」「ネットの情報では…」不安が高じて、根拠のない情報に振り回されてはいけません。これからは**信じるのは自分が積み上げた努力量**だけです。易きに流れて志望校を簡単に変えたり科目を減らしたりするのは一瞬楽になった気になりますが後になって後悔することも多いです。